

ルールについて

以下の項目をお読みいただき、大会に挑んでください。

「ルール」

- 計測は2回行います。各有効計測タイムにペナルティーを加算し、良い方を1本採用します。（それをこの大会での**ベストタイム**とします。）

- ペナルティー項目

1秒加算とされるペナルティー ————— パイロン接触一回毎に1秒。パイロン接触とは、そのパイロンが明らかにもとの位置から移動したと判断される場合です。（例えばパイロンが倒れた、マークしてある枠線から出た等です。）

3秒加算とされるペナルティー ————— ゴール（停止エリア内）での転倒
ゴール停止線オーバー

- 失格項目（タイムが残りません）

コースミス ————— 指定されたコースを走らなかった場合。但し、正規のコースに戻り速やかに復帰した場合はOKです。又、コースアウトした場合（指定コースからはずれた場合）は速やかに正規コースへ復帰して下さい。意図しないコースアウトでその復帰方法が「悪質でない」、「ショートカットとならない」とマーシャルが判断した場合のみ失格とはなりません。

走行不能 ————— 計測中に何らかの理由で走行不能となった場合、本人に走行継続の意志があれば尊重しますが、「大会進行に支障を生ずる場合」と「（転倒によるライダーの負傷、車両の激しい損傷等で）走行を続けるには危険」とマーシャル、誘導係りが判断した場合は「走行停止（失格）」を命じます。

ゼッケン順にスタート位置に付かなかった時

————— 計測は基本的にクラス毎のゼッケン順（番号の若い順）で行います。該当のゼッケンの方が計測時間中にスタート位置に付いていない場合は失格となります。（但し運営上の係りに従事していた場合はこれに該当しません。）

本人の申し出によるリタイア

————— 何らかの都合で自ら計測を断念する場合。（1回目、2回目どちらか計測した場合はその一方のタイムは有効です。）

ウォームアップ中、計測中にマーシャル、誘導係りの指示に従わなかった場合

その他、注意事項を守らなかった場合や、スタッフ職に協力していただけなかった場合
————— 参加者全員の協力なくしては運営出来ない大会です。
ご協力をお願いいたします。

- 再計測について

計測中、前車両に追いついたときは**前車両の計測が優先**です。後車両は再計測を行いますので、他計測中の車両に十分注意して、速やかにスタート位置に付いて下さい。その他、マーシャル、計測係りより再計測の指示があった場合も同様です。

- 車体接地、足着きについて

車体接地、足着きはどちらもノーペナルティーです。

その他、解釈不明な点は計測開始前に**競技委員長**にご質問下さい。又計測終了後、結果発表後でも裁定に疑問がある場合は同じく当日中に**競技委員長**まで申し出て下さい。

係りについて

この大会の運営はすべて参加者全員が分担しあっておこなっています。

当日、貴方にも決められた係りがあります。この封筒の宛名の欄に記してあるのが、あなたの係りです。係りにはリーダーがおりますので指示にしたがって進行ください。また、リーダーになった方は少し早めにおこしください。簡単な打合せをします。

開場について

自動車学校の開場は 8:00 からです。近隣住民の皆様にご迷惑のかからないようにお静かにお願いいたします。

会場付近案内図を同封しましたので、参考にしてください。

スケジュールについて

当日のスケジュールは下記の内容で進行します。ご協力お願いいたします。

@ 当日スケジュール

08:00~08:30	会場開場	12:00~13:00	昼食・慣熟歩行
08:30~09:25	受付・車検	13:00~13:05	係り打合せ
09:25~09:45	開会式	13:05~13:10	デモ走行
09:45~09:55	係り打合せ	13:10~14:40	第2回計測
09:55~10:25	慣熟歩行	14:40~15:00	アトラクション
10:25~10:30	デモ走行	15:00~15:20	慣熟走行
10:30~12:00	第1回計測	15:20~16:00	表彰・閉会式
12:00~13:00	昼食・慣熟歩行	16:00~16:30	会場撤収

その他

今後の活動案内を希望の方は、別紙（書式なし）に下記の事項を記入をして受付に提出ください。

- | | | |
|--------|--------------|---------|
| 1 郵便番号 | 2 住所氏名（ふりかな） | 3 電話番号 |
| 4 誕生日 | 5 血液型 | 6 所持バイク |

では、お気をつけて起こしてください。愛知 GP 実行委員会

役 割 表

会場設営	新見 中村 宮田 石田 天野 村山 木下 本田 () 丹生谷 <u>伊与田</u>
コース設営	伊藤 柴田 北村 宇佐美 大東 原田 津垣 谷口 黒田 園田 <u>西村千</u>
司会	<u>小島</u> 宮城
受付	ゼッケン 永原和 堀越千 吉田 会計 赤尾 白井 <u>永原義</u> 弁当 榎本 狩野 研谷
車検	<u>上杉</u>
集計	<u>茅中</u> 佐藤功
計測	奥村 塚本 <u>丸山</u> 村田 横溝 小林
スターター	<u>紅谷</u> 池田
デモ	<u>小林宏</u>
D J	<u>今井</u> 山田 西村英 吉岡
誘導	糟谷 舟井 乾 加藤 武内 石澤 谷口淳 <u>重光</u>
マーシャル	本多 中村和 中川 佐藤真 南 松崎 <u>西尾</u> 中村淳 関 高木 <u>内海</u> 堀越
アトラクション	<u>上杉</u>
表彰	梅沢 <u>多賀</u> 村田 中村 長谷阪

車輛レギュレーションについて

このジムカーナグランプリ全国シリーズ戦においては、ジムカーナを一般社会からの偏見を受ける事なく、より正しく認知してもらう為と、誰もがより参加しやすく参加者間での不公平感をより少なくする為にこの『車輛レギュレーション』を採用しています。

主なポイントは動力性能と基本構成部品そして外観を、基本的に市販状態またはそれに近い状態に保つ点にありますので、ご理解の上ご参加下さいますよう、よろしくお願ひ致します。

企画責任 GRA

『 '99 ジムカーナグランプリ車輛レギュレーション 』

1. エンジン 関連 エアクリーナーおよびキャブレターからエンジン本体、そしてマフラーまでの部品を、出力向上や軽量化などの効果のある部品への交換および加工が加えられていない事。
例) JMCA認定マフラーへの交換や、車載コンピューターのROMの書き換えや交換も認められません。
2. タイヤ 誰でも入手可能な一般市販公道用タイヤである事。
レース用タイヤまたは特別に制作されたタイヤやグルーピングなどの加工を受けたタイヤでない事。
3. ハンドル 市販状態とハンドル取り付け形式が同じである事。
例) セパレート型ハンドルからパイプハンドルへの変更や、その逆は認められません。
4. ホイール ホイールは市販状態か、または外径が市販状態と同じである事。
(JML規格合格品の事)
5. フレーム 関連 フレーム、スイングアーム、ステアリングシステム、フロントフォークなどを、変更または大幅な加工がなされていない事。
6. 保安・安全装備 ヘッドライト、メーター、テールランプ等の保安部品を取り外さない事。(バックミラーを除く) またブレーキやクラッチレバーの切断も認められません。
7. 例外規定
 - a. 同一型式で互換性のある車輛の部品交換は基本的に認める。
 - b. 市販状態のままであっても、走行上で安全性に問題のある場合、また排気音および走行音が許容範囲を超えていると判断される場合には、走行は認められない。
 - c. 上記項目およびそれ以外の内容の事であっても、主催者はレギュレーションの基本精神に照らし合わせ、主催者の判断で競技機変に対応や解釈を下せるものとする。

以 上

特別規定 : 2000年には、車両外観を市販状態と同等に保つ『シルエット規定』を採用します。1999年はその前段階として、アッパーカウルの取り外しや大幅な加工、ハンドルのグリップ位置の大幅変更、テールカウルなどの大幅な形状変更した車両で参加する方へは、グランプリポイントは一切与えません。(1999年のグランプリシリーズへの参加は可能です)

特別処置 : ジムカーナ初参加者およびAクラスの方の車両に対しては、レギュレーション確認不足を補うため、軽微な逸脱については上記レギュレーションを弾力的に適応させます。

不安や疑問のある方は、開催事務局宛に必ず事前にお問い合わせ下さい。

※ 注意 : 上記特別処置は、基本的にAクラス以外の方には適用しません。